

平成 30 年
第 4 回
評 議 員 会 会 議 録

7 月 5 日 (木)

国立市土地開発公社

平成30年 第4回 国立市土地開発公社評議員会会議録

1. 開催日 平成30年7月5日(木)

2. 場所 国立市議会 委員会室

3. 出席者

(1) 評議員 8名 (——は欠席を表す)

会長 青木 健	副会長 青木 淳子	石井 伸之
遠藤 直弘	中川 喜美代	藤江 竜三
高原 幸雄	関口 博	

(2) 理事 8名

理事長 竹内 光博	副理事長 是松 昭一
出納理事 藤崎 秀明	常務理事 門倉 俊明
理事 雨宮 和人	理事 大川 潤一
理事 橋本 祐幸	理事 江村 英利

(3) 事務局 3名

事務局長 立川 浩平	庶務係長 河村 善之
庶務係員 鍬田 彩葉	

4. 議題

協議事項 6 平成30年度国立市土地開発公社補正予算(第1号)案

5. 会議時間 開会 午前10時00分

閉会 午前10時15分

会 長 (青 木 健 君)

おはようございます。

本日は国立市土地開発公社評議員会にお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

南部地域の水田では田植えも進み、徐々に夏の風景に変わってまいりました。気象庁の見込みでは、今年の夏も平均より高い気温が予想されております。また、本日は台風の影響で非常に過ごしづらい気候となっておりますので、評議員の皆様におかれましては、お体に十分ご留意くださいますようお願いいたします。

それでは、これより評議員会を進めさせていただきます。

ただいまの出席評議員は 8 名でございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから平成 30 年第 4 回国立市土地開発公社評議員会を開会いたします。

日程第 1「会議録署名評議員の指名について」を議題といたします。

議長において、「石井評議員」と「高原評議員」の両名を指名することにご異議ございませんか。

「（異議なし）との声あり。」

ご異議なしと認め、「石井評議員」と「高原評議員」の両名を指名いたします。

続いて、日程第 2「会期の決定について」を議題といたします。

会期を本日一日とすることにご異議ございませんか。

「（異議なし）との声あり。」

ご異議なしと認め、会期を本日一日といたします。

日程第 3「理事長挨拶」でございます。理事長、よろしく申し上げます。

理 事 長

(竹 内 光 博 君)

おはようございます。

本日は、国立市土地開発公社評議員会を招集しましたところ、皆様におかれましては、お忙しい中にもかかわらず、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日提出させていただきました協議事項は、平成30年度補正予算(第1号)案についてでございます。

今回、補正する内容は、国立市より市道八王子道拡幅用地の先行取得依頼があったことによるものでございます。この件につきまして、補正予算として本日の協議に付すものでございます。内容につきましては、事務局から説明させていただきますので、よろしくご協議のほど、お願いいたします。

終わりに、皆様には更なる当公社へのご支援、ご協力をお願い申し上げます、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

会 長

(青 木 健 君)

ありがとうございました。

それでは、日程第4「議題」に入ります。

協議事項6「平成30年度国立市土地開発公社補正予算(第1号)案」を議題といたします。

当局から説明を求めます。事務局長。

事 務 局 長

(立 川 浩 平 君)

おはようございます。

それでは、協議事項6「平成30年度国立市土地開発公社補正予算(第1号)案」について、説明させていただきます。

このたび、市道八王子道拡幅用地の一部につきまして、国立市より先行取得の依頼がございました。市と公社におきまして、事前に、主に財政負担に関する検証を行った結果、土地開発公社の先行取得によりまして、用地取得費に対する東京都の補助金を活用できる見込みであることが、市と公社の双方で確認できたことから、市からの依頼に基づきまして、本補正予算案を計上させていただくものでございます。

それでは、1ページをお開き願います。

第2条、資本的収入及び支出予算の補正についてでございますが、第1項で、収入を増額し、支出も同様に増額するものとしてございます。

2ページでございます、「第1表」におきまして、収入及び支出のおおまかな内訳をお示ししておりますが、詳細につきましては、5ページからの「補正明細書」で説明いたします。

5ページへお進みください。収入につきましては、「項3. 長期借入金」「目1. 長期借入金」の「節1. 長期借入金」を増額してございます。

6ページへお進みください。支出につきましては、「項1. 公有地取得事業費」「目1. 公有地取得事業費」の「節1. 補償費」に、用地補償費、「項2. 事業管理費」「目1. 事業管理費」の「節1. 委託料」に、取得用地の管理にかかる経費、「節2. 公租公課」に、契約印紙代を、それぞれ増額してございます。

次に、7ページの「平成30年度国立市土地開発公社資金計画変更」でございますが、資本的収入及び支出の補正に伴う変更でございます。表上段の「受入資金」の「6. 長期借入金」を増額しております。また、表下段「支払資金」の「1. 公有地取得事業費」、「4. 事業管理費」を増額しております。受入資金と支払資金の差し引き額が、最終行にございますとおり、平成31年度への繰越金となるものでございます。

8ページの、「平成30年度国立市土地開発公社予定損益計算書」でございますが、本補正予算案におきましては、収益的収入及び支出の補正はございませんので、損益計算書の変更はございません。

最後に、9ページ、「平成30年度国立市土地開発公社予定貸借対照表」でございます。表左側の上段、「資産の部」でございますが、1. 流動資産のカッコ1「現金及び預金」、カッコ2「公有用地」の額を変更するものでございます。この流動資産合計に「2. 固定資産」の合計を加えた額が、表左側の最終行、「資産合計」となっております。表右側の上段、「負債の部」でございますが、2. 固定負債のカッコ1「長期借入金」の額を変更するものでございます。表右側の下段、「純資産の部」の変更はございません。表右側の最終行、「負債・純資産合計」が、表左側の「資産合計」と同額となっております。

以上が、平成30年度国立市土地開発公社補正予算（第1号）案についての説明でございます。

よろしくご協議くださいますよう、お願い申し上げます。

会 長 (青 木 健 君)

説明が終わりました。
それでは、ご質疑・ご意見を承ります。

委 員 (関 口 博 君)

これで八王子道の取得が全体の何%程度になるか、そして今後の見通しについて伺いたいと思います。

事務局長 (立 川 浩 平 君)

取得面積ベースで申し上げますと、29年度末現在で、取得済みの面積が19.3%。これは公社と市が取得した合計の進捗率になります。今回の補正をお認めいただいて契約する予定の面積が、割合として18.7%でございます。合計で見込みの進捗率が38%となるものです。残りの分につきましては市と公社で31年度での取得を目指しております。

委 員 (関 口 博 君)

わかりました。現在40%程度で、将来的に30年度31年度で、ということですね。
その間に予想されている課題はどのような点でしょうか。

事務局長 (立 川 浩 平 君)

はい。地権者の方といかに協議を整えて合意に至るかというところでございます。まだ複数の地権者さんが残っておりまして、事業を営んでいる方ですとか、農業を営んでいる方がおります。事情はそれぞれでございますが、例えば、地価の上昇に対する期待というものもございまして、毎年一回用地の取得費を評定し直すことをご存じの方で、もう少し地価が上がるまで待ってみようかというご意見をお持ちの方もいらっしゃいます。市と公社とで協力して、そういった地権者の方と継続して協議をさせていただく中で、先ほど申し上げました年度内の取得を目指しているところでございます。

委 員 (関 口 博 君)

国立の場合地価の増減が少ない状況のなかで、補償等の期待がある

ということは理解できます。市が取得しないのに公社が先行して取得するということはなるべく起こらないようにという趣旨もあると思いますので、そのあたりは交渉を頑張っていたいただきたいと思います。

現時点で公社として取得している土地は、八王子道だけでいいでしょうか。

事務局長 (立川浩平君)

すべて道路予定地でございます。路線名としては3種類ございまして、都市計画道路3・4・8号線用地の一部、3・4・10号線用地の一部、それから市道八王子道の拡幅用地の一部、以上3路線でございます。

委員 (中川喜美代君)

確認の意味で、面積は、補正予算が認められると38%ということで、平成31年度までにすべてを取得するという計画だと思いますが、金額的には今回の額を加えてどのくらいの額になるのでしょうか。

事務局長 (立川浩平君)

用地取得費ベースで申し上げますと、29年度末で進捗率が39.7%でございました。今回見込んでいる契約で申し上げますと、10.4%でございますので、用地取得費ベースで、この契約後50.1%の進捗になります。以上です。

委員 (中川喜美代君)

全体の費用のうち50%の用途がここについて、あと半分ということですね。

今回、東京都の補助金がもらえるということで、いくらもらえるのかということと、今回の土地の面積は何平方メートルの分がこの金額なのかをお聞きします。

それから、今日いただいた配布資料(予算案)は、市道八王子道の買収であることがここからは読み取れず、事務局長の説明を聞いてわかるものですが、どこかに記載するものではないのですか。

事務局長 (立川浩平君)

まず、補助金でございますが、市によりますと、東京都の補助は、用地費の1/2が補助対象でございます。

それから、補正予算案における路線名等の情報でございますが、ご指摘の通り今回の議案の中では、どの路線にどのくらいの面積という情報は載せてございませんでした。毎年5月に定例開催させていただいております、決算の資料の中では公有用地明細表というものをつけてさせていただいております、その中では、路線・取得年月日・所在地・面積・用地費補償費等すべて記載してございます。ご指摘ございましたので、次回以降補正予算の計上させていただくたびに、用地明細表をつけることを検討したいと思っております。

委員長 (青木健君)

事務局長、質疑の中に取得面積が何平方メートルかについても質問がございましたので、回答をお願いいたします。

事務局長 (立川浩平君)

申し訳ございません。
今回、土地開発公社が先行取得する用地の面積が69.54平方メートル、同時に一地権者と交換による取得もございまして、そちらが17.28平方メートルでございます。用地買収による取得と交換による取得の合計で86.82平方メートルで、面積の割合としては全体の18.7%でございます。

委員 (中川喜美代君)

69.54平方メートルと交換による17.28平方メートルということですが、平均で1平方メートルあたりどのくらいの金額になりますか。

事務局長 (立川浩平君)

交換による取得につきましては、市によりまして当初から費用では見ていないとこのことですので、用地取得する部分の平方メートル単価でございますが、区画によって多少前後ありますが、市が年に一回価格審査委員会で価格を再評定しているとのことです。

委員 (中川喜美代君)

ありがとうございました。

会 長

(青 木 健 君)

ほかにございませんか。

なければ、本議題については、協議を終了することといたします。

これもちまして、全日程が終了いたしました。

以上で、平成30年第4回国立市土地開発公社評議員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

午前10時15分閉会